

# 潇洒な会場でゆったりと行われた イタリアヴァイオリン製作者協会の展示

モンドムジカから外で展示を行ったグループの一つに、イタリアヴァイオリン製作者協会がある。楽器だけでなく弓製作者も参加しており、中心になっているのはクレモナ在住の製作家で、今回の展示会への参加は、楽器40人、弓で2人。皆それぞれかなりの経歴の持ち主である。ジョヴァンニ・バッティスタ・モラツシーとシメオネ・モラツシー、また本誌で紹介した菊田浩、高橋明、高橋修一らも会員だ。楽器の本数が43本、弓は6本。ほかにもケースや製作資料なども展示されていた。

場所は市内中心部のローマ公園に



**C** ヴァイオリンに関する資料も展示されていた **D** 楽器だけでなく弓・ケースなども出展されている

ほど近い潇洒な建物。劇場の一角で、そのおそらくウエイティングルームでもあろうかという場所で、ゆったりと座れて、楽器を見ることもでき、また会員と話したり、試奏したりもできるスペースだ。期間中は人の訪れも絶えることなく、静かだが活気あふれる会場となっていた。



**A** ALIのメンバー(一部)。左から菊田浩、メンタ・アレッサンドロ、デラ・コスタ・ファビオ、高橋修一、アキリリーノ・ルイジ、ジョヴァンニ・バッティスタ・モラツシー (Hiroshi Kikuta, Menta Alessandro Della Costa Fabio, Shuichi Takahashi, Aquilino Luigi, Morassi Giovanni Battista)



**B** イタリアヴァイオリン製作者協会(ALI)の展示は、市の中心部・ローマ公園にほど近い映画館の建物を借りて行われた



潇洒な会場には頻繁に人が訪れ、ゆったりと楽器を眺めたり製作者と話していた

